



■特徴

- ・ 単打録 (AG) からも聴ける
経済的なポータブル
- ・ 高性能 6.5cmスピーカ採用により
音質の少ない音から音楽
- ・ 音量切替 (L-H) スイッチ付
- ・ レーザ模倣仕上げの落ち着いたデザイン
- ・ 手さげベルトでも肩かけベルトでも
携入を便利に設計
- ・ イヤホン端子兼外部スピーカー端子付

■キャビカラー

ブラック、レッド

現金正価 5,800円

■定 格

受信周波数帯	510-1605kHz
中間周波数	455kHz
受信感度	250 μ V/m/50mW
出力	静価 100mW 最大 300mW
スピーカ	6.5cmFSMダイナミックスピーカ
電 源	3コシノスタ用乾電池用紙筒 \times 2 4個 (6V) または交流 (50-60%) 100V
消費電力	3W (交流の場合)
形 状	167[巾] \times 107[高さ] \times 52[奥行]mm
重 量	660g (電池共)

■調整要領

高周波回路や中間周波回路の部品取替業務により、再調整を必要とする場合は下記要領で行ってください。

●調整準備

- A. セットの状態：1. VOLUME——最大位置。
2. TONE——HIGH位置。
3. 電源電圧——DC6V

B. アストロインジュータ：100%、50%変調を標準とします。

C. ナスター又は電圧計：出力電圧をあまり大きくすると出力変化が鈍くなり正確な調整点が見つかりにくくなります。1Vをこえないようにオシロスコプの出力を確認して下さい。

●調整順序

順 号	調整回路	アストロインジュータ	受替機の アイヤル位置	調 整 備 内 (出力が最大になるように調整する)	
1	中間周波	ループアンテナ	455K%	パイコン 600K% 付近で音響電流の 入る位置	T_{10} , T_{11} , T_{12} (IFT) の順に調整コアーを確立 し調整して安定にする
			525K%	最終増幅段位置	L_2 (最終トランス)の調整コアー
2	高 周 波	により幅射	600K%	600K%	L_1 (アンテナトランス)のボビンの位置
1500K%			1500K%	C_1 (アンテナコンデンサー)の調整ピス	
1640K%			最終増幅段位置	C_2 (最終トランス)の調整ピス	
②—①を繰返し調整し安定にする					

注) 1. 調整箇所の記事(調入は T_{10} , L_2)は同図又はびアストロインジュータの記号と合致してあります。

■シャーシ取外し取付要領

- シャーシを取外す場合は次の要領で行ってください。
 1. ナスターまたはアスタの出力を弱めて下さい。
 2. ナスターのケーブルを外して下さい。
 3. Yコイルにナスターの出力を弱めて下さい。
 4. シャーシとキャビネットを完全に取外すには、イヤホン端子
スピーカーを外して下さい。
- シャーシを取付ける場合は上記の順序を逆に行ってください。

